

授業科目名	微生物学(2300110)		
時間割名	微生物学(53202)		
時間割担当	彭徳子		
実施期	後期	単位数	1 必修
曜日・時限	金・3		

授業の目標・概要

細菌、ウイルスなどの病原微生物の特徴と感染のメカニズムを理解し、感染症の診断、治療、予防あるいは消毒や滅菌に関する基本的知識を習得するとともに、院内感染症の防止や医療従事者の感染事故の防止などについて学ぶ。また、鳥インフルエンザや、新型インフルエンザ、薬剤耐性菌などの新興感染症の概要についても学習する。

学習の到達目標

感染症の原因となる微生物についての知識を習得する。医療従事者が、抵抗力の無い患者及び自分自身も感染から防御するために幅広い知識を身につける。

授業方法・形式

講義、演習

授業計画

- 第 1 回 総論、微生物学の歴史、微生物のあらまし、細菌の構造、性質
- 第 2 回 感染、感染症、免疫
- 第 3 回 アレルギー、自己免疫疾患
- 第 4 回 滅菌・消毒、化学療法
- 第 5 回 感染症の診断法、細菌学各論（グラム陽性菌、腸内細菌などのグラム陰性菌）
- 第 6 回 細菌学各論（有芽胞菌）、リケッチア・クラミジア、DNAウイルス
- 第 7 回 RNAウイルス、真菌、原虫学各論
- 第 8 回 まとめ、演習

この計画は状況により変わることがあります。

成績評価の基準

出席状況、試験、提出物で総合的に評価する。

授業時間外の課題

予習、復習、レポート作成、演習問題

講義は概ね教科書に沿って行います。予習よりも復習に時間をかけて、理解を深めて下さい。

メッセージ

みなさんは将来、医療従事者として病院に勤務される方が多いでしょう。病院は、感染源も多く、また抵抗力の弱い患者さんは平素無害菌に感染するという事もあります。患者さんを守るために、また皆さん自身も感染から身を守るために、看護師としてしっかりとした幅広い知識を身につけ、感染防御対策を学習しましょう。

教材・教科書

「微生物学」医学書院

参考書

必要に応じて、プリント等資料を配布します。